

高等学校 令和7年度（2学年用）

外国語

科目 文学国語

教科 国語

科目 文学国語

単位数 2 単位

対象学年組 第3学年 1組～1組

教科担当者 (1組:金綱) (組:) (組:) (組:) (組:) (組:)

使用教科書 (大修館書店「文学国語」文国705)

教科 国語

の目標:

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 文学国語

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	・筆者が大切だと考えていることを読み取り、理解する。 ・筆者の考えと比較しながら、自分の生き方について考えを深める。	少なくとも最後まで歩かなかった	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	2
	・筆者のいう「外側」と「内側」を理解し、外側と内側の関係について考える。 ・「外側と内側」のように物事を対比してとらえ、認識を深める。	そとみとなかみ	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	2
	・写真やイラストに合ったおもしろい言葉を考える。 ・読み手の共感が得られるような言葉や表現を工夫して書く。	【書く】言葉でスケッチ ①一言で心をつかもう	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	1
	・ものの魅力を伝える言葉を探し、語彙を豊かにする。 ・読み手の共感が得られるような言葉や表現を工夫して書く。	【書く】言葉でスケッチ ②魅力を言葉で表そう	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	1
	・話のおもしろさをとらえる。	星取り	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	1
	・話のおもしろさと教訓をとらえる。	児の飴食ひたること	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	1
	定期考查			○	○		1
	・場面の設定の仕方を通して登場人物の心情を考える。 ・情景描写の効果を考えながら読む。	ナイン	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	3
	・本文の描写や言葉遣いから「わし」の性格や心情をとらえる。 ・語句のはたらきに注目して読む。	晴れた空の下で	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	2
	・詩に表された作者の心情を読み味わう。 ・詩のさまざまな表現と、その効果について考える。	小景異情	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	1
	・詩に表された作者の心情を読み味わう。 ・詩のさまざまな表現と、その効果について考える。	永訣の朝	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	1
	・詩に表された作者の心情を読み味わう。 ・詩のさまざまな表現と、その効果について考える。	コスモス	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	1
	定期考查			○	○		1

2 学 期	・登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深める。 ・漢文訓読調の文章の魅力を味わう。	山月記	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	6
	・かぐや姫の心情とその変化を読み取る。	かぐや姫の昇天	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	2
	・男が月を見て感じた心情を読み取る。	月やあらぬ	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
	・登場人物の描写から人物像をとらえ、場面ごとの心情を読み取る。 ・仕事や自然に対する描写を読み取り、ものの見方、感じ方を豊かにする。	神去なあなあ日常	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	2
	・小説を読む楽しさを味わう。 ・この話に込められた寓意を読み取り、考えを深める。	鞆	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	2
	・心情や情景描写に注意して読む。 ・「ぼく」が戦争についてどのように感じ、考えているかを読み取る。	身内ほど厄介なものはない	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	2
	・さまざまな文章を読み、構成や表現の工夫を読み取る。	柿	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	2
	・さまざまな文章を読み、構成や表現の工夫を読み取る。	【書く】思いを言葉に ①エッセイを書こう	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	1
	・特定の読み手を想定し、手紙の形式で言葉を贈る。 ・読み手と自分の関係に注意して、相手に応じた内容や表現を工夫して書く。	【書く】思いを言葉に ②手紙を書こう	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	1
	・作品に表れている作者の感性をとらえる。	はしたなきもの	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	1
	・作品に表れている作者の考え方をとらえる。	手のわろき人の	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	1
	・作品に表れている作者の考え方をとらえる。	行く河の流れ	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	1
	定期考査			○	○		1

3 学 期	・読書に興味をもち、積極的に読書に取り組む。 ・作品の構造や語り手の視点を意識しながら、作品を味わう。	さくら日和	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	4
	・読書に興味をもち、積極的に読書に取り組む。 ・登場人物の人間関係や心情、印象的な言葉や表現などを意識しながら、作品を味わう。	鉄道員	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	4
	・それぞれの作品に描かれている情景や心情を読み取る。 ・詩歌の形式や表現の特徴について理解を深める。	現代の恋 近代の恋 古典の恋	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	6
	定期考查			○	○		1

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科			国語		科目 国語表現	
教 科：	国語	科 目：	国語表現	単位数：	2	単位
対象学年組：第 2 学年 1 組						
教科担当者：（1 組： 佐藤 ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）						
使用教科書：（大修館書店「国語表現」国表701）						
教科 国語		の目標：				
		生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。				
【知 識 及 び 技 能】						
		生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。				
【思考力、判断力、表現力等】						
		言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。				
【学びに向かう力、人間性等】						

科目 国語表現の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1学期 中間	・表記の決まりを意識し、正しく書く。 ・漢字や慣用表現を正しく使う。	レッスン1 言葉と表記	○	○		【知識・技能】 ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大切さを理解している。〔(1)ア〕 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現のしかたを工夫している。〔B (1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・正しい表記や語彙を豊かにすることについて積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	・係り受けについて理解する。 ・文末表現について理解する。	レッスン2 整った文を書く	○	○		【知識・技能】 ・書き言葉の特徴について理解を深め、係り受けを整えたり文末表現を統一したりすることについて理解している。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするために、係り受けや文末表現の統一を正確に理解して、表現のしかたを工夫している。〔B (1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・練習問題を解くことをとおして、文を整えて書く学習に対して積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	・敬語について正しい理解をもち、その使い分けについて理解する。 ・話し言葉と書き言葉の違いや、その使い分けについて理解する。 ・和語・漢語・外来語のニュアンスの違いと、その使い分けについて理解する。	レッスン3 相手に応じた言葉遣い	○	○		【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解し、適切に使い分けている。〔(1)イ〕 ・語彙の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、事象を的確に描写したり説明したりするために、相手に応じた言葉遣いを的確に使い分けている。〔B (1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・相手に応じた言葉を使い分けることについて、積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	・言葉と表記、係り受け、文末表現の統一、接続表現の使い方などを意識し、より適切な表現になるように吟味する。 ・原稿用紙の使い方を理解する。	レッスン4 わかりやすい文を書く	○	○		【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。〔(1)イ〕 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章の特長や課題をとらえ直したりしている。〔B (1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・単元1のまとめとしての設問に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	2

	・接続表現の種類と働きを理解する。	レッスン5 文のつなぎ方	○	○	【知識・技能】 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために、接続表現の種類や働きを知り、文章の中で適切に用いている。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように、接続表現の使い方を吟味し、文章全体を整えている。〔B (1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「接続表現クイズ」を解くことをとおして、文と文のつなぎ方に着目した学習に対して積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
1 学 期 末	・言葉と表記、係り受け、文末表現の統一、接続表現の使い方などを意識し、より適切な表現になるように吟味する。 ・原稿用紙の使い方を理解する。	■実践トレーニング①	○	○	【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。〔(1)イ〕 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章の特長や課題をとらえ直したりしている。〔B (1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・単元1のまとめとしての設問に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	・自己紹介のやりとりをとおして相互理解を図る。 ・取り上げる内容は話し方を工夫して、わかりやすく自己紹介をする。	レッスン1 自己紹介ゲーム	○	○	【知識・技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、自己紹介している。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、内容を検討している。〔A (1)ア〕 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選び、同意や共感が得られるよう表現を工夫している。〔A (1)エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ゲームをとおして言葉で伝え合うことを楽しみ、基礎的な対話活動に前向きに取り組もうとしている。	○	○	○	3
	・聞くこと・話すこと、伝え合うことを見つめ直し、コミュニケーションに対する意識をもつ。 ・コミュニケーションの楽しさを知り、積極的にコミュニケーションに取り組む姿勢をもつ。	レッスン2 言葉のストレッチ体操 【表現への扉】「それでいいです」／意図理解の難しさ	○	○	【知識・技能】 ・話し言葉や非言語的表現の特徴と役割について理解を深め、目的や場面に応じた適切な表現を理解している。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。〔A (1)エ〕 ・「話すこと・聞くこと」において、視点を明確にして聞きながら、共感を伝えたり相手の思いや考えを引き出したりしている。〔A (1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・伝え合うことの楽しさを知り、積極的にコミュニケーションに取り組もうとしている。	○	○	○	3
	・図や写真を見て文章を書き、相手に伝わる文章を書くために必要なことを理解する。 ・相手に伝えることを意識してわかりやすい文章を書く。	レッスン3 絵や写真を見て書く	○	○	【知識・技能】 ・説明の順序や5W1H、比喩を用いた説明など、相手に伝わるように書く文章について理解を深めている。〔(1)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、伝えたい情報を整理し順序立てて、事象を的確に描写・説明するなど、表現のしかたを工夫している。〔B (1)オ〕 ・「書くこと」において、読み手に効果的に伝わるように書かれているかを吟味して、自分の文章の特長や課題をとらえ直している。〔B (1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・絵や写真を文章で説明することに興味をもち、相手に伝わるように書く練習に意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
2 学 期 中 間	・5W1Hを明確にし、事実と意見を区別して文章を書く。	レッスン4 マイニュース記事を書こう	○	○	【知識・技能】 ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深める。〔(1)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にする。〔B (1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近なテーマを見つけ、ニュース記事を書く活動に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	・小論文の基本的な書き方を理解する。 ・意見を筋道を立てて書く。 ・原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。	レッスン1 小論文とは何か	○	○	【知識・技能】 ・小論文の特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深めている。〔(1)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いて論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。〔B (1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・小論文と感想文の違いをふまえ、小論文を書くことに関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	6

2 学 期 末	・反論を想定して小論文を書くことの意味を理解する。 ・反論を想定して書く構成を理解し、それに沿って小論文を書く。	レッスン2 反論を想定して書く	○	○	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、説得力のある理由を吟味して、伝えたいことを明確にしている。[B(1)ア] ・「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。[B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・反論を想定し、説得力を高めた小論文を書くことに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	・文章の要旨をつかむための方法を理解する。 ・資料に対する自分の意見を明確にして小論文を書く。	レッスン3 文章を読み取って書く 【表現への扉】「再生」は日常生活から／時代の気分、言葉の温度／藤井新棋聖	○	○	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、読み取った文章の要旨から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。[B(1)ア] ・「書くこと」において、読み手の共感が得られるよう、適切な具体例を効果的に配置するなど、文章の構成や展開を工夫している。[B(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文章から読み取ったことをふまえて小論文を書くことに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
3 学 期	・統計資料から読み取ったことをふまえて論点を整理する。	レッスン4 統計資料を読み取って書く 【表現への扉】データを読む③／データを読む④	○	○	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、読み取った統計資料から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。[B(1)ア] ・「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報をもとに的確に説明するなど、表現のしかたを工夫している。[B(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・統計資料から読み取れることをもとに小論文を書く活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	・発想を広げるための方法を理解する。 ・テーマをもとに発想を広げて小論文を書く。	レッスン5 発想を広げて書く	○	○	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて発想を広げるための方法を理解し、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。[B(1)ア] ・「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、発想を広げたことをふまえて、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。[B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・与えられたテーマから発想を広げて小論文を書く活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	・レポートの基本的な書き方を理解する。 ・客観的な根拠を集めて説得力のあるレポートをまとめる。	レッスン6 レポートを書く	○	○	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、多角的な視点でアンケート調査の方法を考えて行い、伝えたいことを明確にしている。[B(1)ア] ・「書くこと」において、文章と図表や画像などを関係付けながら、レポートや報告書を作成している。[B(2)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・調べたことをレポートにまとめることに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10

年間授業計画

高等学校 令和7年度（2 学年用）教科

教 科： 地理歴史

科 目： 地理歴史

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者：（1 組：桐川 ）

使用教科書：（ 現代の歴史総合（山川出版社）

教科 地理歴史

の目標：

【知 識 及 び 技 能】

現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して画策される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそ なかの日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成 に関わる近現代の歴史を理解する。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、 時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなど に着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察した り、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想した りする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それ らを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社 会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする 態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を 通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に 対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さにつ いての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	歴史の扉 ①身近な事柄が、時間的な推移や空間的 な結びつきのなかで歴史と結びつきを もっていることを理解する。 ②私たちの生活に関わる制度や習慣につ いて分析する際に、歴史的に構築されて いることをふまえることが大切であるこ とを理解する。 ③資料にもとづいて歴史が叙述されてい ることを理解する。 ④資料の性格をふまえ批判的に読みとる ことについて理解する。	①歴史と私たち 現代の私たちと旅 ②歴史の特質と資料 歴史資料とは何 だろうか	【知識・技能】 ・「旅」を題材に私たちの生活や身近な地域などにみられる諸事 象が、日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっている ことを理解している。 ・「広がり」を考える際には、空間的な広がりや階層的な広がり を考えることが大切であることを理解している。 ・憲法制定を題材に、資料の種類・特性や作成の時期・場所・主 体・目的・脈絡等をふまえた批判的な読みとりと吟味が重要であ ることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・諸資料や図版などから適切に情報を読みとり、その時代の旅の 様子や現代との異同を判断している。 ・「旅」を題材に近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル 化などの歴史の変化と関わらせて、日本や日本周辺の地域および 世界の歴史との関連性について考察し、表現している。 ・資料や図版などから適切に情報を読みとり、時期や立場による 書かれ方の違いなどを判断している。 ・憲法制定を題材に複数の資料の関係や異同に着目して、資料か ら読みとった情報の意味や意義、特色などを整理し、表現してい る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近な題材に対して自身で「問い」を立て、歴史との関連を追 究しようとしている。 ・資料から読みとったことを生徒相互に発表したり、対話したり するなどして、資料にもとづいた考察をしようとしている。 ・資料を読みとる際の注意点を整理し、学習への見通しを立てよ うとしている。	○	○	○	8
	第1部 近代化と私たち 第1章 結びつく世界と日本の開国 ①中国で手工業や技術の発展がみられるな か、輸送網と金融システムの展開によって活 発な商取引がおこなわれていたことを理解す る。 ②中国と日本の商品生産と流通を対比して、 それぞれの経済発展や社会の変容について考 察する。 ③幕藩体制のしくみとその特徴について理解 する。 ④大坂を中心とした遠隔地海運が発展し、各 種の商品生産が発展したことを理解する。 ⑤アジア域内貿易がどのようにおこなわれて いたかを理解する。 ⑥18世紀の中国がアジア域内貿易や貿易を通 じて、欧米諸国とどのように結びついていた のかを理解する。 ⑦18世紀の日本がどこを結節点として、どの ような形で世界と結びついていたのかを理解 する。 ⑧産業革命がなゼイギリスから始まったのか を理解する。 ⑨産業革命が当時の人々の生活や社会におよ ぼした変化を理解する。 ⑩産業革命がイギリス以外に普及した過程 と、国によってその様相が異なっていたこと を理解する。 ⑪産業革命によって加速した世界の一体化 が、どのように進み、どのような影響をおよ ぼしたのかを理解する。 ⑫欧米諸国が東アジアに勢力を拡大した理由 と、開港場の増加や貿易制限の緩和など中国 の外交政策の転換について理解する。 ⑬日本でも「鎖国」政策の転換をせまられ、 貿易を開始したことがその後の政治に与えた 影響について理解する。 ⑭中国の開港・日本の開国と産業革命との関 係、および従来の東アジア地域間の貿易や 人・情報の流れの変容について考察する。	1 18世紀の東アジアにおける社会 と経済 2 貿易が結んだ世界と日本 3 産業革命 4 中国の開港と日本の開国	【知識・技能】 ・アメリカ独立宣言やフランス人権宣言の資料を読みとり、そこで述べられている政府の存在意義 を理解している。 ・アメリカ独立革命がこの時期におこった背景について理解している。 ・ラテンアメリカ諸国の独立の背景や経緯について理解している。 ・諸資料から、国民国家を形成しようとする動きが19世紀になって広まった原因を理解している。 ・アメリカ合衆国の国民統合における南北戦争の意味について理解している。 ・西アジアにおける改革の動きとヨーロッパ進出の関係について理解している。 ・冒頭の資料や諸資料から、ペリー来航以降の国政の変化のなかで、政治参加の範囲が広がりを見 せたことを理解している。 ・大名や下級武士、士族や豪農らが政治参加を求める運動の主体となったことや、その展開につ いて理解している。 ・憲法制定が民権派との緊張のなかで政府の主導により実行され、議会の地位や参政権などに課題 が残されたことを理解している。 ・諸資料から欧米諸国のアジア進出の背景や意図を読みとり、中国の開港や日本の開国が、人々の 生活に与えた影響を理解している。 ・原材料の供給と製品の市場という形を通して、東アジアが世界各地と貿易で結びつけられていっ たことを理解している。 ・貿易の開始が東西文化に与えた影響、および人口の移動が移民問題に発展する過程について理解 している。 ・戦争の有無や貿易の状況など、中国の開港と日本の開国がもつ相違点について理解している。 【思考・判断・表現】 ・諸資料を読みとくことで、近世の中国社会と経済の特徴について考察している。 ・中国と日本の人口グラフおよび中国に関する資料を読みとり、両国の特徴と相違点を考察してい る。 ・アジア域内貿易のあり方を考察し、表現している。 ・18世紀の中国と欧米諸国との貿易のあり方を考察し、表現している。 ・18世紀の日本と世界の結びつきに着目して、日本がどのような形で世界と結びついていたのかを 考察し、表現している。 ・大坂を中心とする経済の一体化と発展を、教科書の本文も利用しながら表現している。 ・産業革命による労働の質の変化について考察し、表現している。 ・産業革命が人々の生活に与えた影響をふまえ、豊かさとは何かについて考察している。 ・諸資料の読みとりを通して、欧米諸国のアジア進出の背景や目的を考察し、表現している。 ・中国の開港と日本の開国の背景や影響について、自身で問いを立てて表現している。 ・人・モノ・情報の往来を通して、世界経済のなかで東アジアがより大きな位置を占めるように なったことについて考察している。 ・中国と日本が新たに抱えた課題の共通点と相違点について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・商業ルートの発達地図と資料を組みあわせて理解をしようとしている。 ・18世紀の人口増加のグラフを参照しながら、17世紀と19世紀の日中比較や背景などに対して、学 習の見通しをもって取り組むとともに、自身の問いと関連づけて追究しようとしている。 ・江戸時代の日本の国制の図をみて、現在の日本との違いについて具体的な事例をあげて意見交換 しようとしている。 ・18世紀の中国や日本と世界の結びつきについて、学習の見通しをもって取り組むとともに、自身 の問いと関連づけて追究しようとしている。 ・18世紀の中国や日本と世界の結びつきが、その後の時代にどのように変容するかなどの視点をもち、 その後の学習につなげようとしている。 ・産業革命の進展について、見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけなが ら追究しようとしている。 ・産業革命期の児童労働がみずから同世代の境遇であることと理解し、問題の原因について主体 的に追究しようとしている。 ・交通の発達を描いた絵の内容を読みとったうえで、自分なりに適切であると思う絵のタイトルを 考察し、表現しようとしている。 ・諸資料の読みとりを通して、中国の開港と日本の開国により、東アジアがどのように変容したか という問いに対して、見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追究 しようとしている。 ・開港と開国以降、その後の時代に何がどのように変容するかという俯瞰的な視点をもち、産業革 命や条約改正などの中学校までの学習を活用して、その後の学習につなげようとしている。	○	○	○	10

[illegible]

			・ 帝国主義に関する風刺画を読みとるなかで、内容に関心をもち、風刺画の意味について自分なりに考察し、表現しようとしている。 ・ 植民地とされた地域には現在まで続く問題があることに気づき、このような歴史と現在の関係の類例がほかにないかについて、主体的に追究しようとしている。 ・ 日清戦争までの東アジアの歴史的経緯、および戦後の東アジアがどのように変容したかという問いに対して、見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追究しようとしている。 ・ 現在の領土問題やグローバル化の進展と主権国家の関係性などの視点をもち、課題意識をもって考察し、その後の学習につなげようとしている。 ・ アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較し、帝国主義政策の特徴や列強間の関係がどのように変化したのかという問いに対して、見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追究しようとしている。 ・ 日露戦争の勝利が東アジア諸国の変容とどのように関連し、領土問題や外交案件などの現代的な諸課題とも結びついているかという視点をもち、その後の学習につなげようとしている。				
近代化と現代的な諸課題 近代化の歴史に存在した「開発・保全」「対立・協調」「自由・制限」に関わる課題について諸資料を活用して考察し、それらが現代的な諸課題の形成にどのように関わっているのかについて理解する。	1 開発・保全 2 対立・協調 3 自由・制限	【知識・技能】 ・ 「開発・保全」の観点から、環境に関する諸資料から情報を適切かつ効果的にまとめ、現代的な諸課題に関わる近代化の歴史を理解している。 ・ 「対立・協調」の観点から、大政奉還、王政復古の大号令および中国（清）の対外政策についての李鴻章に関する諸資料から情報を適切かつ効果的にまとめ、現代的な諸課題に関わる近代化の歴史を理解している。 ・ 「自由・制限」の観点から、貿易に関する諸資料から情報を適切かつ効果的にまとめ、現代的な諸課題に関わる近代化の歴史を理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 「開発・保全」の観点から、環境の変化の背景や原因、結果や影響などに着目して、これまでの学習を振り返り、資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、表現している。 ・ 「対立・協調」の観点から、大政奉還、王政復古の大号令でそれぞれの勢力が描いた政治構想、および中国（清）の対外政策に関する相違点と共通点の存在などに着目して、これまでの学習を振り返り、資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、表現している。 ・ 「自由・制限」の観点から、貿易政策の変化の背景や原因、結果や影響などに着目して、これまでの学習を振り返り、資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 「開発・保全」について、よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりや課題を見出そうとしている。 ・ 「対立・協調」について、よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりや課題を見出そうとしている。 ・ 「自由・制限」について、よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりや課題を見出そうとしている。	○	○	○	8	
定期考査			○	○	○	1	
第Ⅱ部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第3章 総力戦と社会運動 ①第一次世界大戦がなぜ最初の「大戦」となったのかを理解する。 ②第一次世界大戦と日本の関わりについて理解する。 ③第一次世界大戦にアメリカ合衆国がどのように関わっていたのかを理解する。 ④第一次世界大戦中にかわされた秘密外交を含む外交関係の内容と、その問題点について理解する。 ⑤第一次世界大戦中に各国でとられた総力戦体制の内容とその影響について理解する。 ⑥ロシア革命の経過、および「土地に関する布告」「平和に関する布告」などからわかるボルシェヴィキ政権の性格を理解する。 ⑦コミンテルンの設立と、それに応じた諸外国の反応を理解する。 ⑧対ソ干渉戦争からの経済政策の変化、およびスターリン政権の性格について理解する。 ⑨第一次世界大戦後のアメリカ合衆国の国際的地位の上昇とアメリカ国内の考え方の差異について理解する。 ⑩アメリカ合衆国の経済的繁栄と、アメリカ社会に存在した不寛容な傾向について理解する。 ⑪ヴェルサイユ条約の内容（国際連盟の設立・ドイツの賠償）、およびその結果としてのドイツの状況について理解する。 ⑫ワシントン会議で締結された3つの条約（ワシ	1 第一次世界大戦の展開 2 ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭 3 ヴェルサイユ体制とワシントン体制 4 世界経済の変容と日本 5 アジアのナショナリズム 6 大衆の政治参加 7 消費社会と大衆文化	【知識・技能】 ・ 諸資料から、第一次世界大戦が当初の予想よりも長期化した要因を理解している。 ・ ヨーロッパの戦争が日本やアメリカ合衆国など、ヨーロッパ外にまで拡大した経緯について理解している。 ・ 第一次世界大戦中に出示された十四カ条の平和原則と「平和に関する布告」の内容と意義について理解している。 ・ 諸資料から第一次世界大戦後のソ連とアメリカ合衆国の特徴について正しく理解している。 ・ とくにソ連・アメリカの経済的な特徴（戦時共産主義・ネップ・五カ年計画・大量生産・大量消費）について理解している。 ・ 諸資料からヴェルサイユ体制・ワシントン体制の内容を理解している。 ・ ヴェルサイユ条約でのドイツに対する賠償についての、フランス・イギリスとアメリカ合衆国の立場の違いを理解している。 ・ ワシントン会議で締結された3つの条約の内容、およびアメリカ合衆国の意図を理解している。 ・ 日露戦争と紡績業の発展が、日本経済にそれぞれ与えた影響を理解している。 ・ 総力戦の直接的な影響を受けなかった日米両国が経済成長する要因を理解している。 ・ 大戦景気が国内の物価を上昇させ、実質賃金が低下した仕組みを理解している。 ・ ドイツとの戦争が日本の産業に与えた影響、および好景気の反動により不況（恐慌）が拡大する仕組みを理解している。 ・ 1920年代に続いた恐慌への、政府の対応策の特徴について理解している。 ・ 諸資料から、朝鮮半島や中国の民族運動の様相とその相違を理解している。 ・ ナショナリズムが高揚した時期の、中国やインド社会の様相とその変容を理解している。 ・ 教科書の本文や諸資料から、インドや西アジア諸地域のナショナリズムの特色とその展開を理解している。 ・ 欧米諸国では、国民生活の向上や工業化の進展、総力戦への協力により、女性や労働者などが一定の政治的影響力をもつに至ったことを理解している。 ・ 日本で男性の普通選挙法が成立した背景として、米騒動や日ソの国交樹立、共産党の成立などの社会や世界情勢の変化があったことを理解している。 ・ 労働運動と社会主義運動のもつ共通点と相違点を理解している。 ・ 社会運動の広がりや大衆社会の形成に、学問や教育制度、マスメディアの発達に影響を与えたことを理解している。 ・ 日本でも大量生産・大量消費を可能とした要因や価格の低下がもたらす社会変化、時間の概念の変化と余暇の拡大などの関連について理解している。 ・ 交通機関やマスメディアの発達が、都市域の拡大や余暇の多様化などの新しい生活様式をもたらしたことを理解している。 ・ 広告や宣伝が、社会や文化の平準化と画一化を進め、政府が宣伝・広報活動や言論の統制を強める過程について理解している。					

		・「統合・分化」の観点から、移民の背景や国民統合との関係などに着目して、これまでの学習を振り返り、資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現している。 ・「平等・格差」の観点から、オリンピックの開催地や競技数にみられる男女の格差と平等の実現の観点から、地域や競技内容の違いに着目して、これまでの学習を振り返り、資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「対立・協調」について、よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりや課題を見出そうとしている。 ・「統合・分化」について、移民と国民統合、移民と国際社会との関わりを考察し、よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりや課題を見出そうとしている。 ・「平等・格差」について、よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりや課題を見出そうとしている。	○	○	○	14
第5章 グローバル化と私たち ①冷戦が第二次世界大戦後に独立・建国した国々にどのような影響をおよぼしたのかを理解する。 ②ベトナム戦争に対するアメリカ合衆国や韓国の姿勢や、日本政府の立場などを理解する。 ③冷戦に対するアジア・アフリカ諸国の姿勢を、第三勢力の結集や非同盟諸国への流れなどの事例を通じて理解する。 ④東西両陣営の社会がどのように変容したのかを、アメリカ合衆国と西ヨーロッパ諸国の関係およびソ連の東ヨーロッパ諸国に対する影響力などを通じて理解する。 ⑤1960年代、人々は何をめざしてどのような運動を展開したのかについて理解する。 ⑥米・ソを中心とする宇宙開発競争や核軍拡の展開について、キューバ危機と部分的核実験禁止条約を事例として理解する。 ⑦反核・平和運動の始まりと展開について、日本の事例を中心に考察する。 ⑧デタント政策の展開と影響について理解する。 ⑨核拡散防止条約の背景と展開、および原子力発電所事故などの事例について考察する。 ⑩デタントが崩壊する過程について理解する。 ⑪西ヨーロッパ統合の背景と歴史的な過程について理解する。 ⑫東南アジアにおける連携と、ASEANの性格の変化について理解する。 ⑬アラブ・アフリカ・南北アメリカにおける連携の特徴について理解する。 ⑭第三世界がアメリカ合衆国とソ連のそれぞれの社会をどのようにみていたのかについて理解する。 ⑮計画経済の特徴とその影響について理解する。 ⑯1960年代以降に明らかとなるソ連の不安定化について理解する。 ⑰中華人民共和国における社会主義体制の形成と大躍進運動について理解する。 ⑱プロレタリア文化大革命の展開と特徴について理解する。 ⑲日本の高度経済成長の要因について、世界経済や日本の社会構造、および政治との関わりから理解する。 ⑳保守政権が経済成長を重視するようになった経緯や結果、および人々のとらえ方について理解する。 ㉑日本の高度経済成長による生活や社会の変容について、新たに生じた課題などを理解する。 ㉒東アジア・東南アジアの国々との戦後処理や、国交正常化の経緯や影響について理解する。 ㉓日本と東アジア諸国の関係や沖縄をめぐる課題が、アメリカ合衆国の東アジア政策の変化と関わりをもって展開したことを、資料から理解する。	1 冷戦下の地域紛争と脱植民地化 2 東西両陣営の動向と1960年代の社会 3 軍拡競争から緊張緩和へ 4 地域連携の形成と展開 5 計画経済とその波及 6 日本の高度経済成長 7 アジアの中の戦後日本	【知識・技能】 ・諸資料から、冷戦がアジア・アフリカ諸国に対して与えた影響および冷戦に対するアジア・アフリカ諸国の反応を理解している。 ・パレスチナ問題や第1次・第2次中東戦争がどのような状況のもとで生じ、また推移したのかを理解している。 ・インド・パキスタンの分離独立や東南アジア諸国の独立とその状況を理解している。 ・ベトナム戦争に対するアメリカ合衆国や韓国の姿勢、日本政府の立場などを理解している。 ・諸資料から、第三勢力の結集や非同盟諸国への流れを理解している。 ・諸資料から、1950年代のアメリカ合衆国や西ヨーロッパ諸国の動向およびアメリカと西ヨーロッパ諸国の関係の変化を理解している。 ・諸資料から、ソ連の東ヨーロッパ諸国に対する影響力は、1950年代・60年代でどのように変化したのかについて理解している。 ・教科書の本文や諸資料から、1960年代、人々は何をめざしてどのような運動を展開したのかについて理解している。 ・教科書の本文、図、諸資料などから核兵器の開発と抑制の動きを理解している。 ・キューバ危機を示す風刺画や地図を読みとり、その意味を理解している。 ・核保有国の拡散について理解している。 ・第五福竜丸事件と第1回原水爆禁止世界大会開催との関連性について理解している。 ・イギリスのEC加盟を妨害するドゴール大統領の風刺画に描かれている内容を正しく読みとっている。 ・ヨーロッパ＝アイデンティティと国民アイデンティティを示すグラフから、ヨーロッパ人意識の高い国と低い国とを理解している。 ・ヨーロッパ統合の歩みと諸地域の統合の図を理解している。 ・アラブ連盟加盟国の旗の図から、それぞれの国旗の表す意味について理解している。 ・教科書の本文、図、諸資料などから計画経済とその波及についての特徴を理解している。 ・ガガーリンのポスターが、何年のどのようなできごとについてのものかを理解している。 ・米・ソの耐久消費財所有の比較をおこなうことができている。 ・中国の軽工業と重工業の推移を読みとることができている。 ・諸資料をもとに高度経済成長へと至る経緯について整理し、国際的・国内的な諸条件にもとづいて高度経済成長が達成されたことを理解している。 ・安保条約改定に関する資料などをもとに、保守政権の安全保障を争点とした政策の転換の結果、公共投資や社会保障の充実が進められたことを理解している。 ・高度経済成長や政策が社会的格差に影響を与えた一方で、過疎化や公害などの問題が生じたことを理解している。 ・諸資料から中華民国・中華人民共和国および韓国との関係構築が、アメリカ合衆国の東アジア政策の影響を受けながら展開したことを理解している。 ・諸資料から、東南アジア諸国への賠償を通じて日本企業の経済進出が進んだことを理解している。 ・ベトナム戦争と関連して沖縄の祖国復帰運動が活発化し、沖縄返還が実現したことを理解している。 【思考・判断・表現】 ・朝鮮戦争や中東戦争、インドシナ戦争、ベトナム戦争など冷戦下の地域紛争の要因とその影響を考察し、表現している。 ・パレスチナ問題および第1次・第2次中東戦争の要因と推移を考察し、表現している。 ・インド・パキスタンの分離・独立や東南アジア諸国の独立について考察し、表現している。 ・ベトナム戦争に対するアメリカ合衆国や韓国の姿勢、日本政府の立場などを考察し、表現している。 ・第二次世界大戦後に独立国が増加したアジアやアフリカ諸国を中心とする第三勢力の結集や非同盟諸国への流れを考察し、表現している。 ・アメリカ合衆国と西ヨーロッパ諸国との関係の変化について考察し、表現している。 ・ソ連の東ヨーロッパ諸国に対する影響力は、1950年代・60年代でどのように変化したのかについて考察し、表現している。 ・差別撤廃運動や1968年の動きに着目して、1960年代、人々は何をめざしてどのような運動を展開したのかについて考察し、表現している。 ・キューバ危機における米・ソ双方の思惑と譲歩の内容について考察している。 ・核実験と実験回数を示す資料やスプートニク1号の打ち上げ成功が示す歴史的意味について考察し、表現している。 ・核廃絶に関連する資料の背景について考察している。 ・ブランド首相がなぜゲットー跡地でひざまずいて謝罪したのか、その歴史的背景について考察している。 ・ヨーロッパ統合に関する様々な資料から、イギリスのEEC加盟問題や、ヨーロッパ諸国の意識の違いについて、歴史的・経済的に考察している。 ・諸資料から、トルコがヨーロッパ統合に受け入れられない歴史的背景について考察している。 ・ASEANの結成と拡大の地図をみて、その特徴の変化とヨーロッパ統合との対比について考察している。 ・アメリカ合衆国が中米地域に対して内政干渉をおこなう際に、どのような論理を掲げているのかを資料から読みとって表現することができている。 ・ポスター、絵、写真、アネクドットなどの諸資料から、ソ連社会の実態について考察を深めている。 ・ネルーの「社会主義型社会」の資料を読みとり、それが生まれる背景を19世紀以来のイギリスとの関係のなかから考察している。 ・ソ連の経済成長率が鈍化してゆく背景や、中ソ対立における論点について理解し、考察している。 ・中国の軽工業と重工業の比率の推移から、国民生活にどのような影響がおよんでいるかを考察するとともに、反右派闘争の背景と展開など政治面の推移を考察している。 ・諸資料から高度経済成長が国内の安価な労働力、国際経済の好調、安価なエネルギー源の輸入に支えられていたことを考察している。 ・資料の内容や時期に着目し新安保条約をめぐる世論が変化した理由や、それが保守政権の政策に与えた影響について考察している。 ・グラフや地図などの資料から、高度経済成長による産業構造の変化や人口の移動、それによる社会の変化を考察し表現している。 ・諸資料から日本の役務賠償が日本と東南アジア諸国との経済的な結びつきに与えた影響を理解している。 ・韓国・中国との関係改善に至るまでの課題や、その克服、新たな課題について考察している。 ・冒頭の資料などから日中・日韓国交正常化や沖縄返還とアメリカ合衆国の東アジア政策との関連を考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・冷戦下でアジアやアフリカ諸国はそれぞれどのような動きを見せていたのだろうかという問いに対して、学習の見通しをもって取り組むとともに、自身の問いと関連づけて追究しようとしている。 ・第三勢力の動向が冷戦構造にどのような影響を与えたかという視点を持ち、その後の学習につなげようとしている。 ・1950年代・60年代の東西両陣営の社会の変容について、学習の見通しをもって取り組むとともに、自身の問いと関連づけて追究しようとしている。 ・1960年代、人々は何をめざしてどのような運動を展開したのかについて、その運動が現在も問われている課題でもあるという視点を持ち、その後の学習につなげようとしている。 ・核兵器の開発とそれにとまなう諸問題について、日本や世界の社会背景と結びつけて考察しようとしている。 ・核兵器の廃絶を求める市民運動や、ホロコーストに対する謝罪などの背景にある歴史的意味について、他者と意見交換しようとしている。 ・核兵器の開発と抑制の動きの歴史的背景について、見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追究しようとしている。 ・ヨーロッパ人意識を高める手段や仕掛けにどのようなものがあるのかという問いについて、見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追究しようとしている。 ・カール大帝とヨーロッパ統合の影響や関連性について、主体的に考察しようとしている。 ・ASEANと世界のどの地域や国々が協力を深めているのかについて考察しようとしている。 ・アフリカ統一機構の特徴とその限界について、資料をもとに考察しようとしている。 ・諸資料から、社会主義社会における特徴および価値観や理想像について見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追究しようとしている。 ・中国の大躍進政策に関する諸資料から、複数の歴史的なできごとを読みとり、現代の諸課題について新たな問いを立て、考察しようとしている。 ・高度経済成長をもたらしたものとその影響について、見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追究しようとしている。 ・諸資料の比較・分析を通して、日本の高度経済成長の意義や課題について自身の意見を構築しようとしている。 ・経済成長や公害といった学習内容を活用し、現代の諸課題について新たな問いを立て、考察しようとしている。 ・戦後処理を通じて、日本とアジアの国々がどのような関係を結んだのかという問いについて、見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追究しようとしている。 ・現代の東アジアに関連する問いに対して、自身の答えを追究しようとしている。 ・学習内容を活用し、現代の日本と東アジアの国々に関する諸課題について新たな問いを立て、追究しようとしている。	○	○	○	8

[illegible]

3 学期			・各国の民主化の課題と現状をふまえて、どのような活動が必要かについて考察しようとしている。 ・今後の日本の国際貢献はどうあるべきか考察しようとしている。 ・東南アジア・アフリカ・ラテンアメリカの民主化について、見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追究しようとしている。 ・各地域統合・自由貿易協定の課題に対する解決手段について、自身の問題として考察しようとしている。 ・今後の国際社会はどのようにあるべきか、自身の意見を表現しようとしている。 ・地域統合が人々や社会におよぼす影響について、見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追究しようとしている。 ・冷戦の終結は協調と平和をもたらしたのかという問いについて、見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追究しようとしている。 ・深刻化する地域紛争の拡大が社会に与える影響について、自身の課題として考察しようとしている。 ・歴史的な背景をふまえながら、今後の日本の安全保障政策や国際貢献といった課題にどのように取り組むべきか、自身の意見を表現しようとしている。 ・自身の興味・関心に従って主題を選択・設定しようとしている。 ・これまでの学習を振り返りながら自身で現代的な諸課題に対する問いを設定し、追究しようとしている。 ・資料の読みとりや考察の結果などを他者と共有し、相手や自身の考察を一層深めようとしている				
	現代的な諸課題の形成と展望	①歴史的な見方や考え方を生かして、現代的な諸課題を考察する方法を理解する。 ②現在の課題解決や将来を構想するうえで、歴史的な見方・考え方を活用することが有効であることを理解する。 ③現代的諸課題に対して、歴史的な問いを立て、これまでの学習をもとに考察し、表現できるようにする。	【知識・技能】 ・諸資料から問いを立てることができることや、経緯や背景、共通点や相違点、担い手といった視点から整理することが有効であることを理解している。 ・身近な課題を考察するうえで歴史的な見方や考え方を活用することが、現在の課題解決や私たちの将来を構想するうえで大切であることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連づけた り、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について考察、構想し、表現している。 ・資料に対し、その時代や資料を記録したものの立場などを文脈に応じて分析し、資料の意義を考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自身で問いを立て、分析の方法や視点を設定し、その答えを追究しようとしている。 ・分析や考察の結果を他者と共有したり、比較したりして、自身の考えをより良いものに改善しようとしている。 ・より良い社会の実現を視野に歴史的な見方・考え方をいかそうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1

高等学校 令和7年度（2学年用）		教科	公民	科目	倫理
教科：	公民	科目：	倫理	単位数：	2 単位
対象学年組：第 2 学年 1 組					
教科担当者：（1組：佐藤）（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）					
使用教科書：（倫理（東京書籍））					
教科 公民 の目標：					

【知識及び技能】	政治・経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、人間としての在り方生き方についての自覚や、平和のために各国民が協力し合うことについて自覚を深める。

科目 倫理 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。	自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 人間の心のあり方 人間の特質や青年期の課題，認知，感情と個性，発達という人間の心の働きについて理解し，他者と共によりよく生きる人間のあり方について考察することを通じて，豊かな自己形成に努める意欲を高める。	第 1 節 人間とはなにか	・人間の特質や「考えること」の意義，青年期の位置づけや特徴，現代社会におけるその特質について理解している。 ・理解したこと，考察したことなどを適切な方法で表現している。 ・人間の特質や「考えること」の意義，青年期の位置づけや特徴，現代社会におけるその特質について自分自身に関連づけて捉え，他者と共によりよく生きるあり方を主体的に探究している。	○	○	○	5
	第1章 人間の心のあり方 人間の特質や青年期の課題，認知，感情と個性，発達という人間の心の働きについて理解し，他者と共によりよく生きる人間のあり方について考察することを通じて，豊かな自己形成に努める意欲を高める。	第 2 節 人間の心の働き	・教科書記載の資料及びその他の資料から，必要な情報を効果的に調べまとめている。 ・理解したこと，考察したことなどを適切な方法で表現している。 ・認知，感情と個性，発達という人間の心の働きについて自分自身に関連づけて捉え，他者と共によりよく生きるあり方について主体的に探究している。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
	第 2 章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ さまざまな人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通して，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索する。	第 1 節 哲学すること 第 2 節 ギリシャの思想 第 3 節 宗教と社会	・「哲学」の意味や，「哲学すること」の意義について理解している。 ・理解したこと，考察したことなどを適切な方法で表現している。 ・幸福，愛，徳，善，正義，義務，真理，存在などに着目して，人生における宗教の意義や，宗教が人間や社会に与えた影響について，自己の在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方の考察に関連付けて主体的に探究している。	○	○	○	8
	第 2 章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ さまざまな人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通して，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索する。	第 4 節 キリスト教 第 5 節 イスラーム 第 6 節 仏教	・教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から，必要な情報を効果的に調べまとめている。 ・理解したこと，考察したことなどを適切な方法で表現している。 ・幸福，愛，善，正義，義務，真理，存在などに着目して，インドで生まれた仏教に見られる人生観・倫理観・世界観を手がかりに，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について主体的に探究している。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	第 2 章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ さまざまな人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通して，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索する。	第 7 節 中国の思想 第 8 節 芸術	・教科書記載の資料及びその他の資料から，必要な情報を効果的に調べまとめている。 ・理解したこと，考察したことなどを適切な方法で表現している。 ・幸福，愛，徳，真理，存在などに着目して，自分自身の内面にも美を求める心があること，それが人生を豊かにするものであること，芸術とは何か，芸術が人生や社会に与える影響はどのようなものかについて，芸術家の考え方や生き方，作品を手がかり	○	○	○	5
	第 3 章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ 現代の価値観に影響を与えた西洋近現代の諸思想について多面的・多角的に考察することを通して，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索する。	第 1 節 近代と人間尊重の精神 第 2 節 近代思想の展開 第 3 節 人格の尊厳と人倫の思想	・西洋における近代化の特徴について，現代に通じる人間尊重の精神という観点から，歴史的背景とともに理解している。 ・理解したこと，考察したことなどを適切な方法で表現している。 ・近代における人間と近代社会の在り方についての考え方を手がかりに，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について主体的に探究している。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
	第 3 章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ 現代の価値観に影響を与えた西洋近現代の諸思想について多面的・多角的に考察することを通して，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索する。	第 4 節 社会変革の思想 第 5 節 理性への疑念	・幸福，善，自由，正義，義務，真理，存在などに着目して，現代の価値観に影響を与えた近代の社会変革の思想について，歴史的背景とともに理解している。 ・理解したこと，考察したことなどを適切な方法で表現している。 キルケゴール，ニーチェ，フロイトの思想を手がかりに，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について主体的に探究している。	○	○	○	8

	第 3 章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ 現代の価値観に影響を与えた西洋近現代の諸思想について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。	第 6 節 人間観・言語観の問い直し 第 7 節 他者・自然との関わり	・20世紀以降の諸思想について、従来の人間観や世界観，言語観がどのように問いなおされたかという観点から理解している。 ・理解したこと，考察したことなどを適切な方法で表現している。 さまざまな人物や宗教の考え方を手がかりに，自分自身が他者や自然とどのようにかわるべきかについて主体的に探究している。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	第 4 章 国際社会に生きる日本人としての自覚 古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想について理解し，国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索する。	第 1 節 日本人としての精神風土 第 2 節 仏教と日本人の思想形成	・日本人の伝統的な自然観，宗教観，倫理観の特質について，自己とのかかわりにおいて理解している。 ・理解したこと，考察したことなどを適切な方法で表現している。 ・日本の古代史・中世史に関する基本的な理解にもとづき，古来の自然や神に対する信仰との共存に着目して，さまざまな先哲の思想を手がかりとして，仏教思想は日本人の思想形成にどのような影響を与	○	○	○	5
	第 4 章 国際社会に生きる日本人としての自覚 古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想について理解し，国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索する。	第 3 節 儒教と日本人の思想形成 第 2 節 国学の思想 第 3 節 庶民の思想	・日本の近世史に関する基本的な理解にもとづき，日本人の思想形成に儒教が与えた影響について，さまざまな先哲の思想を手がかりとして，中国の儒教や日本の仏教の思想傾向と比較しながら，自己とのかかわりにおいて理解している。 ・理解したこと，考察したことなどを適切な方法で表現している。 ・日本の近世史に関する基本的な理解にもとづき，庶民が考えた諸思想や，近代精神の形成や倒幕に	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1

高等学校

令和7年度（2 学年用）

教科

数学

科目

数学Ⅱ

教 科： 数学

科 目： 数学Ⅱ

単位数： 4 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者：（1 組：瀧澤・宮崎）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ ）

教科 数学	の目標：
【知 識 及 び 技 能】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目	数学Ⅱ	の目標：	
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解できるようにする。	・第1章第1節 式の計算	【知識・技能】 多項式の因数分解や割り算などの計算を理解している。 【思考・判断・表現】 分数式を分数と同じように約分、通分して扱うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多項式の割り算の計算方法を理解しようとする態度がある。恒等式の性質を理解し、具体的な問題に取り組もうとする。	○	○	○	8
	・数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。 ・方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くことができるようにする。	・第1章第2節 等式・不等式の証明 ・第2章第1節 複素数と2次方程式の解	【知識・技能】 恒等式A = Bの証明を、適切な方法で行うことができる。 【思考・判断・表現】 不等式の証明に実数の性質を利用できるように、式変形を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 不等式の証明を通じて、三角不等式に興味・関心をもち、それを利用しようとする。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	・剰余の定理や因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。	・第2章第2節高次方程式	【知識・技能】 因数分解や因数定理を利用して、高次方程式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 多項式を1次式で割ったときの余りについて、剰余の定理で考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1の3乗根の性質に興味・関心をもち、具体的な問題に取り組もうとする。	○	○	○	12
	・座標や式を用いて、直線の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 ・座標や式を用いて、円の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	・第3章第1節点と直線 ・第3章第2節円	【知識・技能】 与えられた条件を満たす直線や円の方程式の求め方を理解している。 【思考・判断・表現】 円の方程式が x, y の2次方程式で表されることを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 図形の問題を座標平面上で代数的に解決する解法のよさを知ろうとする。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2 学 期	・図形を、与えられた条件を満たす点の集合として認識するとともに、不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表すことを理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	・第3章第3節軌跡と領域	【知識・技能】 軌跡の定義を理解し、与えられた条件を満たす点の軌跡を求めることができる。 【思考・判断・表現】 平面上の点の軌跡を、座標平面を利用して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 点が満たす条件から得られた方程式がどのような図形を表しているかを考察しようとする。	○	○	○	12
	・角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できるようにする。 ・加法定理を理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	・第4章第1節三角関数 ・第4章第2節加法定理	【知識・技能】 単位円周上の点の座標を、三角関数を用いて表すことができる。三角関数を含む2次方程式の解き方を理解している。加法定理を利用して、種々の三角関数の値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 2倍角の公式を利用して、三角関数を含むやや複雑な方程式・不等式の角を統一して考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 三角比の定義を一般化して、三角関数の定義を考察しようとする。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	・指数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	・第5章第1節指数関数	【知識・技能】 累乗根の定義を理解し、累乗根の計算ができる。底と1の大小に注意して、指数関数を含む不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 指数関数の増減によって、大小関係や不等式・方程式を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 累乗根の性質に興味を示し、具体的に証明しようとする。	○	○	○	10
	・対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。】	・第5章第2節対数関数	【知識・技能】 対数の様々な性質を利用できている。常用対数の定義を理解し、それに基づいて種々の値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 対数関数の増減によって、大小関係や方程式・不等式を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 指数と対数との相互関係に興味・関心をもつ。	○	○	○	9

	定期考査			○	○		1
3 学 期	・微分係数や導関数の意味について理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 ・導関数の理解を深めるとともに、導関数の有用性を認識できるようにする。	・第6章第1節微分係数と導関数 ・第6章第2節関数の値の変化	【知識・技能】 導関数の性質を利用して、種々の導関数の計算ができる。導関数を利用して、関数の極値を求めたり、グラフをかいたりすることができる。 【思考・判断・表現】 導関数を表す種々の記号を理解して、それらを適切に使うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 関数の増減や極値を調べ、3次関数のグラフをできるだけ正しくかこうとする。	○	○	○	14
	・積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	・第6章第3節積分法	【知識・技能】 定積分の定義や性質を理解し、それを利用する定積分の計算方法を理解している。直線や曲線で囲まれた部分の面積を、定積分で表して求めることができる。 【思考・判断・表現】 図形の対称性に着目した面積計算をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 定積分の性質を利用して、計算がなるべく簡単になるように工夫して計算しようとする意欲がある。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1

高等学校

令和7年度（2 学年用）

教科

数学

科目

数学B

教科

数学

科目

数学B

単位数

2

単位

対象学年組

第 2 学年 1 組

教科担当者

（ 1 組：瀧澤 美和 （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書

（ 数研出版 新編 数学B ）

教科

数学

の目標

【知識及び技能】
【思考力、判断力、表現力等】
【学びに向かう力、人間性等】

数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目

数学B

の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関りについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身につけようとする。	離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の家庭や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	数列やその一般項の表し方について理解する。また，基本的な数列として等差数列を理解し，それらの和を求められるようにする。また，これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	第 1 章 数列 第 1 節 等差数列と等比数列 1 数列と一般項 2 等差数列 3 等差数列の和	【知識・技能】 ・等差数列の一般項・等差数列の和の公式を適切に利用して，数列の和が求められる。 【思考・判断・表現】 ・等差数列の項を書き並べて，隣接する項の関係が考察できる。 ・等差数列の和を工夫して求める方法について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・等差中項の性質に興味をもち，問題解決に取り組もうとする。 ・等差数列の和を工夫して求める方法に興味をもち，等差数列の和の公式を導こうとする意欲がある。	○	○	○	5
	等比数列を理解し，それらの和を求められるようにする。また，これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	第 1 章 数列 第 1 節 等差数列と等比数列 4 等比数列 5 等比数列の和	【知識・技能】 ・等比数列の一般項・等比数列の和の公式を，適切に利用して数列の和が求められる。 【思考・判断・表現】 ・等比数列の項を書き並べて，隣接する項の関係が考察できる。 ・等比数列の和を工夫して求める方法について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・等比中項の性質に興味をもち，問題解決に利用しようとする。 ・等比数列の和を工夫して求める方法に興味をもち，等比数列の和の公式を導こうとする意欲がある。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	和の記号Σの表し方や性質を理解し，活用できるようにする。また，いろいろな数列について，その一般項や和を求めたり，和から一般項を求めたりできるようにする。	第 1 章 数列 第 2 節 いろいろな数列 6 和の記号Σ 7 階差数列 8 いろいろな数列の和	【知識・技能】 ・記号Σの意味と性質を理解し，数列の和が求められる。 ・階差数列を利用して，もとの数列の一般項が求められる。 【思考・判断・表現】 ・数列の和を記号Σで表して，和の計算を簡単に行うことができる。 ・数列の規則性の発見に階差数列が利用できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数列の規則性を，隣り合う2項の差を用いて発見しようとする。 ・群数列に興味をもち，考察しようとする。	○	○	○	7
	数列の帰納的な定義について理解し，漸化式から一般項が求められるようにするとともに，複雑な漸化式を既知のものに帰着して考えられるようにする。	第 1 章 数列 第 2 節 いろいろな数列 9 漸化式	【知識・技能】 ・漸化式を適切に変形して，その数列の特徴を考察することができる。 ・おき換えを利用して，漸化式から一般項を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・複雑な漸化式を，おき換えなどを用いて既知の漸化式に帰着して考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・おき換えや工夫を要する複雑な漸化式について，考察しようとする。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1

2 学 期	数学的帰納法の仕組みを理解し、様々な命題の証明に活用できるようにする。	第1章 数列 第2節 いろいろな数列 10 数学的帰納法	【知識・技能】 ・数学的帰納法を用いて等式、不等式、自然数に関する命題を証明できる。 【思考・判断・表現】 ・自然数nに関する命題の証明には、数学的帰納法が有効なことを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学的帰納法を利用して、いろいろな事柄を積極的に証明しようとする。	○	○	○	3
	確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。	第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 1 確率変数と確率分布 2 確率変数の期待値と分散 3 確率変数の和と積	【知識・技能】 ・確率変数の期待値、分散、標準偏差を求めることができる。 ・複雑な確率分布の期待値を、確率変数の和の期待値の公式などを利用して求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・確率変数の期待値、分散、標準偏差などを用いて確率分布の特徴を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・確率的な試行の結果を表すのに確率分布を用いることのよさに気づき、確率分布について積極的に考察しようとする。	○	○	○	9
	定期考查			○	○		1
	連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。	第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 4 二項分布 5 正規分布	【知識・技能】 ・反復試行の結果を、二項分布を用いて表すことができる。 ・正規分布に従う確率変数Xを標準正規分布に従う確率変数Zに変換できる。 【思考・判断・表現】 ・具体的な事象を二項分布として捉え、考察することができる。 ・正規分布を活用して現実のデータについて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・二項分布に従う確率変数の期待値、分散、標準偏差の公式について、確率分布の定義から導こうとする。 ・現実のデータが正規分布に近い分布になることがあることに興味をもち、様々なデータについて考察しようとする。	○	○	○	8
	定期考查			○	○		1
3 学 期	母集団と標本、標本平均について理解し、特に標本平均については、それが確率変数であることを正しく理解した上で考察できるようにする。	第2章 統計的な推測 第2節 統計的な推測 6 母集団と標本 7 標本平均の分布	【知識・技能】 ・母集団分布と大きさ1の無作為標本の確率分布が一致することを理解し、母平均、母標準偏差を求めることができる。 ・母平均と母標準偏差から標本平均の期待値と標準偏差を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・母集団分布と大きさ1の無作為標本の確率分布が一致することについて考察できる。 ・母平均と母標準偏差の考え方や標本平均の期待値と標準偏差の考え方がわかる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・大数の法則に興味をもち、標本の大きさnが大きくなるときの分布曲線の変化を、コンピュータなどを用いて積極的に調べようとする。	○	○	○	6
	母平均や母比率の推定、正規分布を用いた仮説検定ができるようにし、それらを日常の事象の考察や様々な判断に積極的に活用しようとする態度を育てる。	第2章 統計的な推測 第2節 統計的な推測 8 推定 9 仮説検定	【知識・技能】 ・信頼区間の考え方をを用いて、母平均や母比率の推定ができる。 ・仮説検定の考え方をを用いて、日常の身近な事象に対する主張を検定することができる。 【思考・判断・表現】 ・片側検定と両側検定の違いを理解し、どちらの検定をするか正しく判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・母平均や母比率の推定に関心を示し、信頼区間の幅と標本の大きさや信頼度との関係を考察しようとする。	○	○	○	6
	定期考查			○	○		1

高等学校

令和7年度（2学年用）

教科

理科

科目

物理基礎

教科：理科

科目：物理基礎

単位数：2単位

対象学年組：第2学年1組～1組

教科担当者：（1組：兵藤）（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（第一学習社 新物理基礎）

教科理科

の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目物理基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する力を養う。	物体の運動と様々なエネルギーに対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	物体の運動 【知識及び技能】 物体の運動について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 物体の運動について、規則性や関係性を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養う。	教科書p. 10-39 第1章第1節「物体の運動」	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	12
	定期考查			○	○		1
	力と運動の法則 【知識及び技能】 物体にはたらく力とその運動について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 物体にはたらく力とその運動について、規則性や関係性を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養う。	教科書p. 40-75 第1章第2節「力と運動の法則」	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	11
	定期考查			○	○		1
2 学 期	仕事と力学的エネルギー 【知識及び技能】 力学的エネルギーと仕事について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 力学的エネルギーと仕事について、規則性や関係性を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養う。	教科書p. 76-93 第1章第3節「仕事と力学的エネルギー」	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	7
	熱とエネルギー 【知識及び技能】 熱と温度について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 熱と温度および仕事について、規則性や関係性を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養う。	教科書p. 98-111 第2章第1節「熱とエネルギー」	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	7
	定期考查			○	○		1
	波の性質 【知識及び技能】 波の性質と波動現象について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 波の性質と波動現象について、規則性や関係性を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養う。	教科書p. 116-131 第3章第1節「波の性質」	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	6
	音波 【知識及び技能】 音の伝わり方や固有振動について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 音の伝わり方や固有振動について、規則性や関係性を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養う。	教科書p. 132-145 第3章第2節「音波」	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	6
	定期考查			○	○		1

3 学 期	電荷と電流 【知識及び技能】 電気と物質の電気抵抗について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 電気と物質の電気抵抗について。規則性や関連性を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養う。	教科書p. 150-165 第4章第1節「電荷と電流」	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	6
	電流と磁場 【知識及び技能】 電流と磁場について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 電流と磁場について、規則性や関係性を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養う。	教科書p. 166-173 第4章第2節「電流と磁場」	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	4
	エネルギーとその利用 【知識及び技能】 さまざまな発電方法や放射線の性質を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 エネルギーの特性や利用などについて、規則性や関係性を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養う。	教科書p. 174-179 第4章第3節「エネルギーとその利用」	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1

高等学校

令和7年度（2学年用）

教科

理科

科目

化学基礎

教科：理科

科目：化学基礎

単位数：2単位

対象学年組：第2学年1組～1組

教科担当者：（1組：兵藤）（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（第一学習社 新化学基礎）

教科理科

の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目化学基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物質と その変化について理解するとともに、科学的に 探究するために必要な観察、実験などに関する基本 的な技能を身に付ける。	自然の事物・現象の中に問題を見いだし、質的・量 的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、 関係付けたりするなどの科学的に探究する力を養 う。	物質とその変化について主体的に関わり、それらに 対する気付きから課題を設定し解決しようとする態 度など、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	物質の構成 【知識及び技能】 元素と物質の分類について学ぶ。 状態変化と熱運動について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 物質を分離・精製する方法を考え る。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養 う。	教科書p. 18-31 第1章第1節「物質とその構成要素」	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組 み、提出している。	○	○	○	6
	物質の構成粒子 【知識及び技能】 原子の構造について学ぶ。 周期表について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 電子配置と周期表の属や周期との 関連性を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養 う。	教科書p. 32-45 第1章第1節「物質とその構成要素」	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組 み、提出している。	○	○	○	5
	定期考查			○	○		1
	粒子の結合 【知識及び技能】 化学結合について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 結合と物質の性質との関連性を見出 す。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養 う。	教科書p. 48-77 第1章第2節「化学結合」	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組 み、提出している。	○	○	○	13
	定期考查			○	○		1
2 学期	物質量と化学反応式 【知識及び技能】 物質量について学ぶ。 化学反応式について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 化学反応に関与する物質の量的関 係を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養 う。	教科書p. 84-113 第2章第1節「物質量と化学反応式」	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組 み、提出している。	○	○	○	11
	定期考查			○	○		1
	酸と塩基の反応 【知識及び技能】 酸と塩基の定義について学ぶ。 中和反応について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 中和反応に関与する物質の量的 関係を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養 う。	教科書p. 118-141 第2章第2節「酸・塩基とその反応」	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組 み、提出している。	○	○	○	10
	定期考查			○	○		1

3 学 期	酸化還元反応 【知識及び技能】 酸化還元の定義について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 酸化還元反応に関与する物質及び 電子の量的関係を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養 う。	教科書p. 144-167 第 2 章第 3 節「酸化還元反応」	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組 み、提出している。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1

高等学校

令和7年度（2学年用）

教科

理科

科目

地学基礎

教科：理科

科目：地学基礎

単位数：2単位

対象学年組：第2学年1組～組

教科担当者：（1組：加藤）（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（地学基礎(出版社名)東京書籍、ニューサポート地学基礎(出版社名)東京書籍）

教科理科

の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるように

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目地学基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。	観察、実験などの探究的な活動を通して科学の方法を習得することを目標にし、地球や地球を取り巻く環境に対する物事を多角的に考察し、表現する能力を高める。	地学的な事物・現象の中から問題を見つけだし、観察、実験などを通して探究の過程をたどることによって科学の方法を習得し、地学的に探究する能力と態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元 大地とその動き 【知識及び技能】 地球の大きさ、構造、プレートの動きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地球の大きさ、構造、プレートの動きを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 地球の大きさ、構造、プレートの動きを知ろうとする。	・P14～30 ・QR教材	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	6
	B 単元 火山活動と地震 【知識及び技能】 火山噴火の多様性、火成岩、地震の発生と場所を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地球の構造について物質から考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 地球の構造について知ろうとする。	・P32～49 ・QR教材 ・岩石モデルの観察	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	7
	定期考查			○	○		1
	C 単元 地球の熱収支 【知識及び技能】 大気構造、熱収支を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 大気で起こる現象を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 大気構造、熱収支を知ろうとする。	・P52～58 ・QR教材	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	5
	D 単元 大気の水の運動 【知識及び技能】 運動の原因、循環、海水運動、相互作用を正しく理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 大気と海洋の相互作用を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 各現象を知ろうとする。	・P60～73 ・教材 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	6
	定期考查			○	○		1
2 学期	A 単元 宇宙の構造と進化 【知識及び技能】 誕生、太陽系について正しく知ろうとする。 【思考力、判断力、表現力等】 太陽系の構成を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 太陽と地球について知ろうとする。	・P76～95 ・一人1台端末の活用 ・QR教材の活用	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	6
	B 単元 地層と化石の観察 【知識及び技能】 地層の形成を正しく理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地層から分かる情報を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 知識と情報を活用しようとする。	・P98～102 ・一人1台端末の活用 ・QR教材の活用	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	5
	定期考查			○	○		1
	C 単元 古生物の変遷と地球環境 【知識及び技能】 地球史の初期を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 先カンブリア期、古生代、中生代、新生代を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 知識と情報を活用しようとする。	・P106～127 ・一人1台端末の活用 ・QR教材の活用	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	9
	D 単元 日本の自然の恵みと防災 【知識及び技能】 自然環境の特徴、恵み、防災を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 気象災害。地震災害、火山災害を考察する。	・P130～144 ・一人1台端末の活用 ・QR教材の活用	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	6

	【学びに向かう力、人間性等】 知識と情報を活用しようとする。 定期考査						
				○	○		1
3 学 期	A 単元 地球環境の考え方、自然環境の変動 【知識及び技能】 考え方、環境の変化を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 考え方、環境の変化を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 知識と情報を活用しようとする。	・ P148～156 ・ 一人 1 台端末の活用 ・ QR教材の活用	【知識・技能】 知識・技能に関する考査問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考査問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組 み、提出している。	○	○	○	4
	B 単元 これからの地球環境 【知識及び技能】 世界の取り組み、代替エネルギーを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 持続可能な発展を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 知識と情報を活用しようとする。	・ P162～169 ・ 一人 1 台端末の活用 ・ QR教材の活用	【知識・技能】 知識・技能に関する考査問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考査問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組 み、提出している。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和7年度（1 学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教 科： 保健体育 科 目： 体育 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組

教科担当者：（ 1組：谷野 ）

使用教科書：（ 大修館 現代高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

【知 識 及 び 技 能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする

運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくりの運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。	公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保することができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	球技（バレーボール） ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする こと、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする こと、互いに助け合い高め合おう ことなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	バレーボール	【知識・技能】 それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	5
	体づくり運動 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立てて取り組むことができるようにする。 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おう こと、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしよう こと、話し合いに貢献しよう ことなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	体づくり運動	【知識・技能】 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	8
	定期考査						
	ウインドサーフィン ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的にウインドサーフィン操作できるようにする	ウインドサーフィン	【知識・技能】 ・それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。				

2 学 期	・ウインドサーフィンの操作技術などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・ウインドサーフィンに自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするこ と、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようすることなどや、ウインドサーフィンの事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保できるようにする。		【主体的に学習に取り組む態度】 ・自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	8
	ウインドサーフィン ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的にウインドサーフィン操作できるようにする ・ウインドサーフィンの操作技術などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・ウインドサーフィンに自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするこ と、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようすることなどや、ウインドサーフィンの事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保できるようにする。	ウインドサーフィン	【知識・技能】 ・それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	7
	定期考査						
	ウインドサーフィン ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的にウインドサーフィン操作できるようにする ・ウインドサーフィンの操作技術などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・ウインドサーフィンに自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするこ と、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようすることなどや、ウインドサーフィンの事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保できるようにする。	ウインドサーフィン	【知識・技能】 ・それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	5
	ウインドサーフィン ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的にウインドサーフィン操作できるようにする ・ウインドサーフィンの操作技術などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・ウインドサーフィンに自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするこ と、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようすることなどや、ウインドサーフィンの事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保できるようにする。	ウインドサーフィン	【知識・技能】 ・それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	8
	定期考査						
	ダンス ・リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊ること。 ・表現などの自己や仲間の課題を発見し、	ダンス	【知識・技能】 ・ダンスには、身体運動や作品創作に用いられる名称や用語があること。 ・それぞれの踊りには、その踊りの特徴と表現の仕方があること。 ・リズムの取り方や動きの連続のさせ方を組み合わせ、動きに変化を付けて踊るこ				

		合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 ・ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話合いに貢献しようとする こと、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。	・リズムや音楽に合わせて、独自のリズムパターンや動きの連続や群の構成でまとまりを付けて踊ること。 【思考・判断・表現】 それぞれのダンスに応じて、表したいテーマにふさわしいイメージや、踊りの特徴を捉えた表現の仕方を見付けること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ダンスの学習に自主的に取り組もうとすること。 ・仲間に課題を伝え合ったり教え合ったりして、互いに助け合い教え合おうとすること。	○	○	○	8
	器械運動	・技ができる楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、自己に適した技で演技すること。 ・技などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 ・器械運動に自主的に取り組むとともに、よい演技を讃えようとする こと、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしよう することなどや、健康・安全を確保すること。	【知識・技能】 ・回転系や巧技系の基本的な技とは、回転系の接転技群、ほん転技群の基本的な技、巧技系の平均立ち技群の基本的な技を示している。 【思考・判断・表現】 ・選択した技の行い方や技の組合せ方について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・器械運動の学習に自主的に取り組もうとすること。 たた ・自己の状況にかかわらず、互いに讃え合おうとすること。	○	○	○	7
	定期考査						
3 学 期	陸上競技（持久走）	持久走	【知識・技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けようとしている。 【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしよう とすること、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしよう とすることなどや、健康・安全を確保することができるようにしている。	○	○	○	5
	球技（タッチラグビー）	タッチラグビー	【知識・技能】 それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	8
	定期考査						

高等学校 令和7年度（2 学年用） 教科

保健体育 科目 保健

教 科： 保健体育 科 目： 地理歴史

単位数： 1 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組

教科担当者： （1 組：谷野 ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書： （ 現代高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

【知 識 及 び 技 能】

各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】

運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目	保健	の目標：		
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。		健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。		生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・ライフステージと健康の関連について説明できる。 ・各ライフステージで活用できる社会からの支援について例をあげることができる。	ライフステージと健康	【知識・技能】 ・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・思春期の心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	・思春期における体の変化を、女性と男性に分けて説明できる。 ・思春期の心の発達にかかわって起こる問題について例をあげることができる。	思春期と健康	【知識・技能】 ・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・思春期の心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	定期考査						
	・性意識の男女差について例をあげて説明できる。 ・性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例をあげることができる。	性意識と性行動の選択	【知識・技能】 ・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。				

7971			言いたっている。 ・思春期の心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	・妊娠・出産の過程における健康課題について説明できる。 ・妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスの例をあげることができる。 ・家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。 ・人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明できる。 ・心身の発達と結婚生活の関係について説明できる。 ・結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができる。	妊娠・出産と健康 避妊法と人工妊娠中絶 結婚生活と健康	【知識・技能】 ・結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解したことを言ったり書いたりしている。 ・受精，妊娠，出産とそれに伴う健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	定期考査						
	・加齢にともなう心身の変化について例をあげて説明できる。 ・高齢社会に必要な社会的な取り組みについて例をあげて説明できる。	中高年期と健康	【知識・技能】 ・中高年期を健やかに過ごすためには、若いときから、健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと、生きがいをもつこと、運動やスポーツに取り組むこと、家族や友人などとの良好な関係を保つこと、地域における交流をもつことなどが関係することについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・高齢期には、加齢に伴い、心身の機能や形態が変化すること、その変化には個人差があること、疾病や事故のリスクが高まること、健康の回復が長期化する傾向にあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・高齢社会では、認知症を含む疾病等への対処，事故の防止，生活の質の保持，介護などの必要性が高まることなどから、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3

2 学 期	- 働くことの意義と健康とのかかわりについて説明できる。 - 働き方や働く人の健康問題の変化について説明できる。 - 労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できる。 - 労働災害を防止するために必要なことをあげることができる。 - 職場がおこなう健康に関する取り組みについて例をあげて説明できる。 - 余暇を積極的にとることの意義について説明できる。	働くことと健康 労働災害と健康 健康的な職業生活	【知識・技能】 - 労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 - 労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善、長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 - 労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 - 働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決の方法に応用している。 - 労働災害と健康について、習得した知識を基に、労働災害の防止に向けて、個人の取組と社会的対策を整理している。 - 労働と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	定期考査						
	- 大気汚染の原因と健康への影響について例をあげて説明できる。 - 大気にかかわる地球規模の健康問題について例をあげて説明できる。 - 水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる。 - 大気、水、土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生のしくみについて説明できる。 - 環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できる。 - 産業廃棄物の処理について説明できる。	大気汚染と健康 水質汚濁。土壌汚染 環境と健康にかかわる対策	【知識・技能】 - 人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 - 健康への影響や被害を防止するためには、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、排出された汚染物質を適切に処理したりすることなどが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 - 健康への影響や被害を防止するために環境基本法などの法律等が制定されており、環境基準の設定、排出物の規制、監視体制の整備などの総合的・計画的対策が講じられていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 - 環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 - 人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に応用している。 - 環境と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	- ごみの処理の現状やその課題について説明できる。 - 上下水道のしくみと健康にかかわる課題を説明できる。 - 食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について説明できる。 - 食品の安全性を確保するための個人の役割について説明できる。	ごみ処理と上下水道の整備 食品の安全性 食品衛生にかかわる活動	【知識・技能】 - 上下水道の整備、ごみやし尿などの廃棄物を適切に処理する等の環境衛生活動は、自然環境や学校・地域などの社会生活における環境、及び人々の健康を守るために行われていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 - 環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 - 人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に応用している。 - 環境と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	定期考査						
	- 保健行政の役割について例をあげて説明できる。 - 保健サービスの活用の例をあげることができる。 - わが国における医療保険のしくみについて説明できる。 - さまざまな医療機関の役割について説明できる。	保健サービスとその活用 医療サービスとその活用 医療品の制度とその活用	【知識・技能】 - 我が国には、人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 - 健康を保持増進するためには、検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し、地域の保健所や保健セン				

3 学 期	・医薬品の正しい使用法について説明できる。 ・医薬品の安全性を守る取り組みについて例をあげて説明できる。		ターなどの保健機関、病院や診療所などの医療機関、及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことなどが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・医薬品は、医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品の三つに大別され、承認制度によってその有効性や安全性が審査されており、販売に規制が設けられていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・疾病からの回復や悪化の防止には、個々の医薬品の特性を理解した上で、使用法に関する注意を守り、正しく使うことが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が設けられていることと関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理している。 ・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	・国際機関・民間機関などの保健活動について例をあげて説明できる。 ・行政機関による社会的対策について例をあげて説明できる。 ・健康の保持増進のための環境づくりについて説明できる。 ・環境づくりへの主体的な参加が自他の健康づくりにつながることを説明できる。	さまざまな保健活動や社会的対策 健康に関する環境づくりと社会参加	【知識・技能】 ・我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・一人一人が健康に関心をもち、健康を支える適切な環境づくりに積極的に参加していくことが必要であり、そのことが自分を含めた世界の人々の健康の保持増進につながるについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・様々な保健活動や社会的対策について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・健康に関する環境づくりと社会参加について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な保健活動や社会的対策について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 健康に関する環境づくりと社会参加について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	定期考査						

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科： 外国語 科 目： 英語コミュニケーションⅡ 単位数： 4 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者： （1組：中村・竹田・仙波）

使用教科書： （ PANORAMA English Communication2 大修館 ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】 外国語の音声や表現などの理解を深め、知識を応用し、5技能を用いて、場面等に応じて活用する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 外国語で話し手の書き手の意図や考えを理解し、それらを活用して自分の意図や考えを表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図る態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔や〕	話 〔発〕	書					
1 学 期	Lesson1 World Panoramas 【知識及び技能】 関係詞や分詞構文を用いた文の意味や働きを理解し、世界の国々について話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 読んだ内容について書いてまとめるために、世界の国々について書かれた文章の概要や要点を捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 読んだ内容について書いてまとめるために、世界の国々について書かれた文章の概要や要点を捉えようとしている。	Part 1: New York の特徴と社会課題について理解する。 Part 2: Kenyaの特徴と環境問題について理解する。 Part 3: Bhutanの特徴とその社会変化について理解する。 Part 4: Australiaの特徴と環境問題について理解する。	○	○	○	○	○	「単元の具体的な指導目標」に基づき、音読活動、問題演習、ペア・グループ活動、発表ややり取りなどの実技テスト、定期考査、その他授業内外の取り組みなどを総合的に評価する。	○	○	○	15
	定期考査								○			1
	Lesson3 Sleep 【知識及び技能】 S＋V（知覚動詞）＋O＋C（現在分詞／過去分詞）・形式目的語 it・疑問詞＋do you think ～？を用いた文の意味や働きを理解し、睡眠について話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 読んだ内容について書いてまとめるために、睡眠に関連する話題について書かれた文章の概要や要点を捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 読んだ内容について書いてまとめるために、睡眠に関連する話題について書かれた文章の概要や要点を捉えようとしている。	Part 1: 人間や動物の睡眠について理解する。 Part 2: 眠りの段階と夢について理解する。 Part 3: 睡眠と健康の関係について理解する。 Part 4: よい睡眠をとる方法について理解する。	○	○	○	○	○	「単元の具体的な指導目標」に基づき、音読活動、問題演習、ペア・グループ活動、発表ややり取りなどの実技テスト、定期考査、その他授業内外の取り組みなどを総合的に評価する。	○	○	○	15
	定期考査								○			1
2 学 期	Lesson4 Biomimetics 【知識及び技能】 進行形の受動態・現在完了形の受動態・無生物主語・関係副詞where/whenの継続用法を用いた文の意味や働きを理解し、バイオミメティクスについて話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 読んだ内容について書いてまとめるために、バイオミメティクスについて書かれた文章の概要や要点を捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 クラスメートにわかるように、バイオミメティクスに関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしようとしている。	Part 1: 進行形の受動態の使い方を理解する。 Part 2: 現在完了形の受動態の使い方を理解する。 Part 3: 無生物主語の使い方を理解する。 Part 4: 関係副詞where/whenの継続用法の使い方を理解する。	○	○	○	○	○	「単元の具体的な指導目標」に基づき、音読活動、問題演習、ペア・グループ活動、発表ややり取りなどの実技テスト、定期考査、その他授業内外の取り組みなどを総合的に評価する。	○	○	○	15
	定期考査								○			1

[illegible]

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 家庭 科目 家庭総合			
教 科：	家庭	科 目：	家庭総合
対象学年組：	第 2 学年 1 組	単位数：	2 単位
教科担当者：	（1組：ミヤ スルターンムハンマド）	（ 組：	） （ 組：
使用教科書：	（ 家庭総合 明日の生活を築く 開隆堂 SupetrLiveView家庭科 東京書籍	（ 組：	）
教科 家庭	の目標：		
【知 識 及 び 技 能】	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。		
【思考力、判断力、表現力等】	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。		
【学びに向かう力、人間性等】	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。		

科目 家庭総合	の目標：	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらにかかる技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	家族・家庭および社会 【知識及び技能】 家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や、男女の平等と協力、社会との関わりについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 統計や家庭や地域及び社会における生活の中から課題を設定し、論理的に解決策を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考えることができる。	家族・家庭の機能と家族関係 家族・家庭と法律 家庭生活と福祉 男女の平等と協力 家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性 社会保障制度	【知識・技能】 家族・家庭、世帯、親族などの違いを理解できたか。 家族・家庭と社会の関わりについて理解できたか。 民法の条文を読み取り理解することができたか。 社会保障制度の仕組みと活用や、現在の日本の社会保障制度の課題について理解できたか。 【思考・判断・表現】 統計や家庭や地域及び社会における生活の中から課題を設定し、論理的に解決策を考察できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考えることができたか。	○	○	○	8
	青年期の自立 【知識及び技能】 青年期の課題である自立や意思決定の重要性、社会との関わりについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考えることができる。	各ライフステージの特徴と課題 青年期の課題である自立 意思決定の重要性	【知識及び技能】 青年期の課題である自立や意思決定の重要性、社会との関わりについて理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考察できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考えることができたか。	○	○	○	8
	衣生活の科学と文化 【知識及び技能】衣服の起源や歴史、風土に適した衣服、衣服が持つ機能や安全性などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】衣服の起源や歴史、風土に適した衣服を鑑み、人はなぜ衣服を着るのか考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】衣生活の文化や、自分の衣生活を取りまく状況について関心をもち、衣生活の改善・向上に積極的にとりくもうとする。	衣生活を取り巻く課題 日本と世界の衣文化 被服と人との関わり	【知識及び技能】衣服の起源や歴史、風土に適した衣服、衣服が持つ機能や安全性などについて理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】衣服の起源や歴史、風土に適した衣服を鑑み、人はなぜ衣服を着るのか考えることができたか。 【学びに向かう力、人間性等】衣生活の文化や、自分の衣生活を取りまく状況について関心をもち、衣生活の改善・向上に積極的にとりくもうとしたか。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	衣生活の科学と文化 【知識及び技能】衣服材料の性能と特徴、衣服整理についての科学的な知識や、縫製技術を身につけることによって、衣服を適切に選択し管理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】衣服材料・衣服整理についての基礎的な知識を身につけ、実生活での衣服管理において、適切な判断ができる。 【学びに向かう力、人間性等】衣生活の文化や、自分の衣生活を取りまく状況について関心をもち、衣生活の改善・向上に積極的にとりくもうとする。	身体特性と被服の機能及び着装 健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理 被服材料 被服構成 被服製作 被服管理	【知識及び技能】衣服材料の性能と特徴、衣服整理についての科学的な知識や、縫製技術を身につけることによって、衣服を適切に選択し管理することができたか。 【思考力、判断力、表現力等】衣服材料・衣服整理についての基礎的な知識を身につけ、実生活での衣服管理において、適切な判断ができたか。 【学びに向かう力、人間性等】衣生活の文化や、自分の衣生活を取りまく状況について関心をもち、衣生活の改善・向上に積極的にとりくもうとしたか。	○	○	○	16

2 学 期	生活を支える経済 【知識及び技能】生活における経済と社会のかかわりや、家庭の収入や支出, 予算生活の必要性について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】現在の経済社会と家計との関係を考えながら、家庭の収入・支出・預金などについて、適切な考えをもち、判断ができる。 【学びに向かう力、人間性等】自分の経済的自立を考えながら、家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について、積極的に理解しようとし、短期・長期の経済計画について意欲的にとりくもうとしている。	家計の構造 生活における経済と社会との関わり 生涯を見通した経済の管理、計画 ライフステージごとの課題や社会保障制度との関連	【知識及び技能】生活における経済と社会のかかわりや、家庭の収入や支出, 予算生活の必要性について理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】現在の経済社会と家計との関係を考えながら、家庭の収入・支出・預金などについて、適切な考えをもち、判断ができたか。 【学びに向かう力、人間性等】自分の経済的自立を考えながら、家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について、積極的に理解しようとし、短期・長期の経済計画について意欲的にとりくもうとしたか。	○	○	○	10
	定期考查			○	○		1
3 学 期	消費行動と意思決定 【知識及び技能】消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき、また契約についての知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】消費行動における意思決定の過程について、具体的な事例を通して主体的に考え、判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】これからの社会に求められる消費者の自覚と、行動のあり方を意欲的に考えようとしている。	消費生活の現状と課題 消費行動における意思決定や責任ある消費の重要性 消費者問題 契約の重要性 消費者保護の仕組み	【知識及び技能】消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき、また契約についての知識を身につけているか。 【思考力、判断力、表現力等】消費行動における意思決定の過程について、具体的な事例を通して主体的に考え、判断することができたか。 【学びに向かう力、人間性等】これからの社会に求められる消費者の自覚と、行動のあり方を意欲的に考えようとしたか。	○	○	○	8
	持続可能なライフスタイルと環境【知識及び技能】家庭生活と資源・環境との関係や持続可能な消費について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】消費行動と環境とのかかわりについて、生活と関連させながら課題をみつけ、解決の方向性を判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】持続可能な社会の実現に向けた消費行動について意欲的に考えようとしている。	生活と環境との関わり 持続可能な消費 持続可能な社会への参画	【知識及び技能】家庭生活と資源・環境との関係や持続可能な消費について理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】消費行動と環境とのかかわりについて、生活と関連させながら課題をみつけ、解決の方向性を判断することができたか。 【学びに向かう力、人間性等】持続可能な社会の実現に向けた消費行動について意欲的に考えようとしたか。	○	○	○	8
	定期考查			○	○		1

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科

総合的な探究の時間 科目

教科： 総合的な探究の時間 科 目：

単位数： 1 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組

教科担当者： （1組：佐藤克・金綱・佐藤圭・桐川・中村・谷野・ミヤ） （組： ） （組： ） （組： ）

使用教科書： （ ）

教科	総合的な探究の時間	の目標：
【知識及び技能】	探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。	
【思考力、判断力、表現力等】	実社会や実生活と事故との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。	
【学びに向かう力、人間性等】	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。	

科目	の目標：
【知識及び技能】	小笠原や東北地方に係る様々な分野において、情報を収集・整理・分析を通して問題解決能力を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	小笠原や東北地方に係る様々な分野において探究・発表することで探究心と表現力及び問題解決能力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】	地域社会を作る力を育むとともに、道徳性を養う。将来に向けて自己の在り方を考え、より良い生き方を主体的に選択しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	小笠原をテーマにビジネスプランを考えよう 【知識及び技能】小笠原に係る様々な課題を理解する 情報収集・整理・分析を通して問題解決能力を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】小笠原に係る様々な分野において探究・発表することで探究心と表現力及び問題解決能力を高める 【学びに向かう力、人間性等】地域社会を作る力を育むとともに、道徳性を養う	地域や身の回りの生活から社会課題を見いだす 課題解決手段となる「商品・サービス」「ターゲット」を設定する ビジネスプランシートを作成する 一人1台端末の活用	【知識・技能】小笠原に係る様々な課題を理解できたか 情報収集・整理・分析を通して問題解決能力を身に付けたか 【思考・判断・表現】小笠原に係る様々な分野において探究・発表することで探究心と表現力及び問題解決能力を高めたか 【主体的に学習に取り組む態度】地域社会を作る力を育むとともに、道徳性を養ったか	○	○	○	8
2 学 期	修学旅行事前学習 東日本大震災と原子力発電について 【知識及び技能】東日本大震災と原子力発電に係る様々な課題を理解する 情報収集・整理・分析を通して問題解決能力を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】東日本大震災と原子力発電に係る様々な分野において探究・発表することで探究心と表現力及び問題解決能力を高める 【学びに向かう力、人間性等】地域社会を作る力を育むとともに、道徳性を養う	東日本大震災と原子力発電について情報収集を行い社会課題を見いだす 課題解決のため、情報収集・整理・分析手順を理解する 発表する 一人1台端末の活用	【知識・技能】東日本大震災と原子力発電に係る様々な課題を理解できたか 情報収集・整理・分析を通して問題解決能力を身に付けたか 【思考・判断・表現】東日本大震災と原子力発電に係る様々な分野において探究・発表することで探究心と表現力及び問題解決能力を高めたか 【主体的に学習に取り組む態度】地域社会を作る力を育むとともに、道徳性を養ったか	○	○	○	8
3 学 期	修学旅行事後学習 東日本大震災と原子力発電について 【知識及び技能】東日本大震災と原子力発電のその後について理解する 【思考力、判断力、表現力等】事前学習による問題解決方法を検証する 【学びに向かう力、人間性等】地域社会を作る力を育むとともに、道徳性を養う	東日本大震災と原子力発電のその後を理解する 発表する 一人1台端末の活用	【知識及び技能】東日本大震災と原子力発電のその後について理解できたか 【思考力、判断力、表現力等】事前学習による問題解決方法を検証できたか 【学びに向かう力、人間性等】地域社会を作る力を育むとともに、道徳性を養ったか	○	○	○	8